

**第1期中期目標期間
公立大学法人新潟県立看護大学の
業務実績に関する評価結果**

令和元年9月

新潟県公立大学法人評価委員会

目 次

1	はじめに	1
2	期間評価の仕組み	2
3	評価結果	
(1)	全体評価結果	3
(2)	大項目別評価結果	5
4	参考	
◇	指標（数値目標）の達成度一覧	21
◇	業務実績評価（期間評価）実施要領	23
◇	評価委員名簿	27
◇	第1期中期目標期間業務実績報告書	別添

1 はじめに

平成 25 年に公立大学法人化した公立大学法人新潟県立看護大学は、新潟県における看護教育・研究の中核的機関として、教育研究活動に励み、多様に変化する社会ニーズに柔軟に応じうる資質の高い看護人材を育成するとともに、その成果を絶えず地域社会に還元し、看護学の発展と保健・医療・福祉の向上に寄与することを目的としている。

この目的の実現に向けて、「高度な看護人材の供給と確保」、「地域課題の研究・発信」、「国内外の関係機関との連携」を基本方針に位置づけ、設立団体である新潟県が定めた中期目標の達成を目指して取り組んでいる。

平成 30 年度で 6 年間の第 1 期目標期間を終了したことから、新潟県公立大学法人評価委員会は、地方独立行政法人法に基づき、中期目標に基づく取組の達成状況を検証の上、認証評価機関による評価結果を踏まえ、客観的、専門的かつ総合的な視点で、第 1 期中期目標期間の業務実績の評価（期間評価）を行った。

当評価委員会が行う評価が、法人の自主的かつ継続的な業務運営の見直し・改善を促し、第 2 期中期目標期間において、更なる教育研究の質的向上、業務の効率化及び透明性の確保に資することを期待する。

令和元年 9 月

新潟県公立大学法人評価委員会 看護大学部会

部会長	下 條 文 武
委 員	神 代 聡 子
委 員	勝 島 朝 子
委 員	金 川 克 子

2 期間評価の仕組み

(1) 評価の根拠

地方独立行政法人法（平成 15 年法律第 118 号）第 78 条の 2

(2) 評価の対象

法人の第 1 期中期目標（平成 25 年 4 月指示。目標期間：平成 25 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）の達成状況

(3) 評価の基準

公立大学法人新潟県立看護大学の中期目標期間の業務実績評価(期間評価)
実施要領（平成 31 年 2 月 1 日新潟県公立大学法人評価委員会決定）

(4) 評価の経緯

令和元年 6 月 27 日	法人から業務実績報告書の提出
8 月 23 日	第 2 回看護大学部会開催（中項目別評価の審議）
9 月 4 日	中項目別評価を法人に提示
9 月 4 日	法人から中項目別評価案に対する意見の提出
9 月 10 日	第 3 回看護大学部会開催 （大項目別評価、全体評価の審議）
9 月 10 日	評価書の確定

3 評価結果

(1) 全体評価結果

評価結果	中期目標の達成状況は『良好』である
-------------	--------------------------

ア 評価理由

第1期中期目標期間である平成25年度から平成30年度においては、理事長を中心とした機動的な運営体制の下、業務全般の安定した遂行と中期目標の達成を目指し、特に「教育」、「地域貢献・国際交流」、「業務運営の改善及び効率化」及び「その他の業務運営」の分野で、多くの実績が認められた期間であったと言える。

教育に関しては、学生確保に向けた積極的な取組により、厳しい外部環境下で学部学生の志願者を確保したことや、学生の授業満足度が高いこと、国家試験合格率が高水準を維持したことなど、大学の使命である高度な看護人材の育成に、特記すべき実績が認められた。

地域貢献に関しては、地域社会のニーズに対応した各種公開講座等を開催するほか、上越地域の関係機関と連携を図り、地域の保健・医療・福祉に貢献した。

業務運営等については、大学院博士後期課程の開設や、包括外部監査及び認証評価結果への速やかな対応、ハラスメント対策の整備など運営体制の改善を図る取組が多くみられた。

本県の看護教育・研究の中核的機関として、資質の高い人材の供給としての役割が期待される中、最も重要となる「教育研究上の質の向上に関する目標」について、多くの実績が認められたところであり、第1期中期目標期間の新潟県立看護大学の業務実績については、総合的に勘案した結果、全体として、中期目標の達成状況は『良好』であると判断した。

イ 特筆すべき取組、顕著な成果

【教育研究上の質の向上に関する目標】

- 学部学生の志願者確保 【大項目 1 (No. 1)】
- 実習施設との連携と確保 【大項目 1 (No. 3)】
- 教育の質の向上への取組と学生の授業満足度の高さ 【大項目 1 (No. 3)】
- 「学生相談関係者会議」による学生の支援体制の充実 【大項目 1 (No. 4)】
- 国家試験合格率の高水準 【大項目 1 (No. 4)】
- 科学研究費獲得に向けた組織的支援策 【大項目 2 (No. 6)】
- 地域社会のニーズに対応した各種公開講座等の開催 【大項目 3 (No. 7)】
- 地域の関係機関との連携による地域貢献 【大項目 3 (No. 8)】

【業務運営に関する目標】

- 大学院博士後期課程の開設 【大項目 4 (No. 10)】
- 包括外部監査及び認証評価結果への速やかな対応
【大項目 4 (No. 10) 、大項目 6 (No. 16)】
- 事務局の学生対応満足度の高さ 【大項目 4 (No. 11)】
- 地域の災害対応への貢献 【大項目 7 (No. 20)】
- ハラスメント対策の整備 【大項目 7 (No. 21)】

ウ 主な課題・改善点、今後に向けた提言・期待

- 県内就職率の向上と戦略的な学生確保 【大項目 1 (No. 1)】
- 研究活動の活性化と研究水準の向上 【大項目 2 (No. 5、6)】
- インターネットによる情報発信の強化と社会還元の拡充
【大項目 3 (No. 7)、大項目 6 (No.17)】

エ 項目別評価結果一覧

全体評価	大項目別評価		中項目別評価		
良好	教育研究上の質の向上に関する事項	1 教育に関する事項	A 良好	(No.1) 学生の確保	a 中期計画の達成状況は良好である
				(No.2) 教育の内容	a 中期計画の達成状況は良好である
				(No.3) 教育の実施体制	a 中期計画の達成状況は良好である
				(No.4) 学生への支援	a 中期計画の達成状況は良好である
		2 研究に関する事項	B 概ね良好	(No.5) 研究水準及び成果等	b 中期計画の達成状況は概ね良好である
				(No.6) 研究実施体制の整備等	a 中期計画の達成状況は良好である
		3 地域貢献・国際交流に関する事項	A 良好	(No.7) 地域社会ニーズへの対応	a 中期計画の達成状況は良好である
				(No.8) 地域社会との連携	s 中期計画の達成状況は優れている
				(No.9) 国際交流	a 中期計画の達成状況は良好である
	4 業務運営の改善及び効率化に関する事項	A 良好	(No.10) 運営体制の改善	a 中期計画の達成状況は良好である	
			(No.11) 人事の適正化	a 中期計画の達成状況は良好である	
			(No.12) 事務の効率化・合理化	b 中期計画の達成状況は概ね良好である	
	5 財務内容の改善に関する事項	B 概ね良好	(No.13) 自己収入の増加	b 中期計画の達成状況は概ね良好である	
			(No.14) 経費節減	b 中期計画の達成状況は概ね良好である	
(No.15) 資産の運用管理の改善			b 中期計画の達成状況は概ね良好である		
6 自己点検・評価及び情報公開の推進に関する事項	B 概ね良好	(No.16) 自己点検・評価の実施	b 中期計画の達成状況は概ね良好である		
		(No.17) 情報公開の推進	b 中期計画の達成状況は概ね良好である		
7 その他業務運営に関する事項	A 良好	(No.18) 法令遵守の推進	b 中期計画の達成状況は概ね良好である		
		(No.19) 施設の効率的整備	b 中期計画の達成状況は概ね良好である		
		(No.20) 危機管理	s 中期計画の達成状況は優れている		
		(No.21) 人権の保護	a 中期計画の達成状況は良好である		

(2) 大項目別評価結果

大項目 1 教育に関する目標	
評価結果	A：中期目標の達成状況は『良好』である
ア 評価理由 <p>北陸新幹線開業や近隣看護系大学の新設といった環境下で学生確保に向けた競争が激しくなる中で、県内及び隣接県の高校を中心とした大学説明会や模擬講義等に取り組み、学部学生の志願者を確保していることは評価できる。県内の看護師不足に対応するためにも、県内高校への訪問は評価されるものであり、県内就職率の向上に向けて、さらなる分析と戦略的な展開を期待する。</p> <p>大学院については、専門看護師の養成に取り組んでいるほか、指導者・教育者としての意識を高める教育を推進し、平成 30 年度は前期課程、後期課程ともに定員を充足している。</p> <p>実習施設との連携を強化し、学生全員が希望通りの実習施設に配属されるよう施設を確保していることは評価できる。また、教育の質の向上に関する取組を強化しており、学生の授業内容満足度は期間を通して高水準を維持した。学生の要望を取り入れた学習環境の整備に取り組んでいるが、今後、自主学習のためのスペース（ラーニングコモンズ）の整備・充実が望まれる。</p> <p>「学生相談関係者会議」を開催し、関係者間で連携しながら学生支援体制を充実させたことは評価される。</p> <p>助産師国家試験の合格率は 6 年連続で 100% を達成するとともに、看護師の合格率は期間を通じて全国平均を上回る高水準を維持するなど、県内を中心に数多くの学生を看護の分野に送り出してきた。</p> <p>これらの実績を評価し、教育に関する目標の達成状況は、「良好」とであると判断した。</p>	

イ 中項目別評価結果

(No.1) 学生の確保【a：中期計画の達成状況は良好である】

北陸新幹線の開業や、近隣に看護系大学が新設される環境下で学生確保に向けた競争が激しくなる中で、県内及び隣接県の高校を中心とした大学説明会や模擬講義等に取り組み、学部学生の志願者を確保していることは評価できる。オープンキャンパス参加者は、平成 28 年度をピークに減少しており、開催時期や実施回数に工夫の余地があると考えられる。また、志願倍率の向上と併せて成績水準等の高い学生を確保できるよう引き続き取組を進められたい。

県外出身学生の県内就職率が低いことを考慮すると、県内の看護師不足に対応するためにも、県内出身学生の志願者増加に向けたきめの細かい働きかけが期待される所であり、平成 30 年度に新たに実施した県内高校への訪問は評価できる。今後は、県内出身学生の県内就職率を継続的に分析し、県内高校生の確保に向けても県内高校訪問を戦略的に展開されることを期待する。

大学院については、入試説明会の実施や県内関係団体及び県内外の病院に対する周知を行い、平成 30 年度は前期課程、後期課程ともに定員を充足している。社会人が入学しやすい工夫をさらに重ねることによって、大学院学生を確保していくことを期待する。e-ラーニングやスカイプを取り入れた遠隔授業を試行しているが、受講生の利便性が保たれるよう、様々な方法を試行し改善していく必要がある。

(No.2) 教育の内容 【a：中期計画の達成状況は良好である】

看護実践能力の効果的な育成を目指した新カリキュラムを平成 28 年度に導入するなど、教育課程の充実に取り組んでいることは評価できる。保健師及び助産師養成課程の選択制導入（平成 28 年度～）により、保健師及び助産師教育の履修単位や看護師教育の選択科目が増加し、各々のカリキュラムが充実・強化された。今後は、実習施設の確保を含め、選考試験の実施方法等についてさらなる検討を進められたい。

大学院においては、平成 25 年度に老年看護 CNS 教育課程、平成 26 年度にがん看護 CNS 教育課程の認定を受けるなど、各専門分野において高い水準の看護ケアを提供する専門看護師の養成に取り組んできた。カリキュラムについては、医療環境を見据えた看護の役割、看護学の向上を考えながら、その時の状況に合わせた内容となるよう引き続き検討されたい。大学院生に論文発表や学会発表等を行うよう指導しているほか、病院や保健所などに在職している社会人が多いことから、現場での経験を生かして、学部の講義や研修会にゲストスピーカーや講師として参加することを促し、指導者・教育者としての意識を高めている。

(No.3) 教育の実施体制 【a：中期計画の達成状況は良好である】

実習病院、施設等の臨床講師、実習指導者等と合同で研修会等を開催するとともに、現場の意見をより反映させるため、保健所や実習施設の看護部長も含めて調整会議を実施するなど、実習施設との連携を強化し、学生全員が希望通りの実習施設に配属されるよう施設を確保していることは評価できる。

平成 30 年度に国際電子ジャーナル「メディカルオンライン」のフリーアクセス契約及び外国文献データベース「シナール」のフルテキスト契約を行ったことで、必要な文献を入手しやすい環境が整備された。利用者の多い時期や国家試験前の自習室の拡大開放や、図書館の暑さ対策など、学生の要望を取り入れた学習環境の整備に取り組んでいることは評価できる。今後、自主学習のためのスペース（ラーニングコモンズ）については一層の整備・充実が望まれる。

教員の授業内容や方法の改善及び向上（ファカルティ・ディベロップメント（FD））については、アクティブラーニング研修や看護教育における授業評価をテーマとした研修会を実施したほか、平成 29 年度からは FD 通信（学内報）を発行して授業改善事例を学内全体で共有するなど教育の質の向上に関する取組を強化してきた。

学生による授業評価アンケートにおける授業内容満足度は年々上昇し、かつ、期間を通して目標値を上回る高水準を維持した。アンケート結果については、平成 30 年度に科目別評価点を開示するなど、徐々にオープン化を図ってきているが、学生からの個別のコメントを開示し、改善策を教員に求めるなど、教員個人が授業を改善し、それが評価される仕組みとなるようさらに取組を進めることを期待する。

(No.4) 学生への支援 【a：中期計画の達成状況は良好である】

学生生活に対する支援については、学年担任、学校医、保健指導員、カウンセラー、保健師からなる「学生相談関係者会議」を年2回開催し、それぞれの活動状況や支援体制の課題について話し合いを行うなど関係者間で連携しながら支援体制を充実させたことは評価される。

キャリア支援については、国家試験対策講義や個人面談による学習指導を重ねた結果、助産師国家試験の合格率は6年連続で100%を達成するとともに、看護師の合格率は期間を通じて全国平均を上回る高水準を維持した。保健師の合格率は、平成30年度を除いて全国平均を上回ってきた。平成30年度についても、合格者数は全国の看護系大学228校中9位と、他校と比較しても多いことを考慮すれば、今後も合格者数を確保しながら、合格率を高める努力が望まれる。

専門看護師資格審査については、大学院のCNS養成課程修了生に勉強会等を開催して支援し、毎年度合格者を輩出してきた。

就職希望者の就職率は期間を通じて高く、県内を中心に数多くの学生を看護の分野に送り出してきた。県立大学としての存在意義を踏まえ、大学近隣地域外の県内学生に対する生活支援を含めた多面的な方策により、戦略的に県内に定着する学生確保につなげるとともに、更なる分析を行い、引き続き県内就職率の向上に努められたい。

卒業後のキャリア支援においては、卒業生に対するニーズ調査の実施や、卒業生の再就職支援のための情報提供を行う「卒業生支援ポータル」を開設しており、多方面にわたるサポート体制が充実している。

【参考】

年度評価における「教育」に関する中期計画の進捗状況評価

H25	H26	H27	H28	H29	H30
B	A	A	A	A	A

(進捗状況評価基準)

S : 優れて順調、A : 順調、B : 概ね順調
C : やや遅れている、D : 遅れている

指標（数値目標）の進捗状況一覧

中項目	指標	目標値/実績値/達成度[達成率]							
		H25	H26	H27	H28	H29	H30		
(No.1) 学生の確保	No.2 志願倍率	目標値	4倍						
		実績値	2.8倍	5.9倍	4.9倍	5.1倍	3.3倍	4.1倍	
		達成度	△ [70.0%]	◎ [148.2%]	◎ [122.5%]	◎ [127.5%]	○ [82.5%]	◎ [100.0%]	
(No.3) 教育の実施体制	No.3 学生の授業内容満足度 (5段階評価の平均)	目標値	4.2点						
		実績値	4.2点	4.3点	4.4点	4.4点	4.6点	4.6点	
		達成度	◎ [100%]	◎ [101.9%]	◎ [104.8%]	◎ [104.8%]	◎ [109.5%]	◎ [109.5%]	
(No.4) 学生への支援	No.1 国家試験合格率 ※ ○概ね達成(全国平均値以上～100%未満)	看護師	目標値	100%					
			実績値	97.7%	100%	100%	96.7%	98.9%	98.9%
			達成度	○ [97.7%]	◎ [100%]	◎ [100%]	○ [96.7%]	○ [98.9%]	○ [98.9%]
		保健師	目標値	100%					
			実績値	98.9%	100%	97.8%	96.8%	91.7%	87.8%
			達成度	○ [98.9%]	◎ [100%]	○ [97.8%]	○ [96.8%]	○ [91.7%]	△ [87.8%]
		助産師	目標値	100%					
			実績値	100%	100%	100%	100%	100%	100%
			達成度	◎ [100%]	◎ [100%]	◎ [100%]	◎ [100%]	◎ [100%]	◎ [100%]
	No.4 就職希望者の就職率	目標値	100%						
		実績値	100%	98.9%	100%	98.9%	100%	98.8%	
		達成度	◎ [100%]	○ [98.9%]	◎ [100%]	○ [98.9%]	◎ [100%]	△ [98.8%]	
No.5 新卒者(全学)の県内就職率	目標値	62%							
	実績値	53.3%	69.8%	68.1%	53.8%	71.7%	52.4%		
	達成度	○ [85.9%]	◎ [112.5%]	◎ [109.8%]	○ [86.8%]	◎ [115.6%]	○ [84.5%]		
No.5 新卒者(県内出身)の県内就職率	目標値	80%							
	実績値	68.8%	80.9%	83.8%	71.6%	84.4%	68.3%		
	達成度	○ [86.0%]	◎ [101.1%]	◎ [104.8%]	○ [89.5%]	◎ [105.5%]	○ [85.4%]		

* 指標の達成度 = ◎達成(100%以上) ○概ね達成(80%以上～100%未満) △やや遅れている(60%以上～80%未満) ▲遅れている(60%未満)

大項目2 研究に関する目標

評価結果

B：中期目標の達成状況は『概ね良好』である

ア 評価理由

研修会の開催、若手研究者のための相談窓口の開設、学長裁量経費による科学研究費申請準備に対する助成、学内共同研究助成制度の創設等、科学研究費獲得に向けて様々な組織的支援策を講じてきたことは評価される。

その一方で、著書件数や査読付き論文件数については、期間中の多くの年度で目標値に達しなかった。大学が組織的・継続的に研究活動の支援環境を整備してきたことが、期間中において、研究活動の活性化や研究水準の向上といった成果につながったとは必ずしも言えないことから、引き続き、研究支援体制の整備に取り組まれない。

これらの状況を総合的に評価し、研究に関する目標の達成状況は、「概ね良好」と判断した。

イ 中項目別評価結果

(No.5) 研究水準及び成果等【b：中期計画の達成状況は概ね良好である】

論文の被引用件数は目標値を大きく上回ったほか、学会報告件数についても、期間中全ての年度で目標値を上回った。その一方で、著書件数や査読付き論文件数については、期間中の多くの年度で目標値に達しなかった。

教員評価システムを構築し、研究業績評価の実施及び業績評価による研究費の追加配分を行うほか、学内共同研究助成制度により共同研究グループに助成するなど、組織的・継続的な取組を続けているが、これらが研究水準の向上や成果に結びつくことを期待する。

また、県内の看護職者と共同で地域の諸課題について研究を行い成果発表を行うほか、学内共同研究助成制度を受けた研究者の研究成果発表会を行っていることは評価できるが、こうした研究成果発表の場をさらに確立・充実させていくことを期待する。

(No.6) 研究実施体制の整備等【a：中期計画の達成状況は良好である】

研修会の開催、若手研究者のための相談窓口の開設、学長裁量経費による科学研究費申請準備に対する助成、学内共同研究助成制度の創設等、科学研究費獲得に向けて様々な組織的支援策を講じてきたことは評価される。こうした取組を通じて、平成30年度の外部研究資金獲得件数は目標値を上回った。

平成30年度には、科学研究費の獲得実績の多い教員をコンサルテーターとして選任し、支援を要望する教員を対象に研究計画の立案、修正に関する相談を受け助言するコンサルテーションシステム（R.P.C：Research Proposal Consultation）を構築し試行を開始した。

こうした取組を含め、大学では組織的・継続的に研究活動の支援環境を整備してきているが、期間中において、必ずしも研究活動の活性化や研究水準が大きく向上したといった実績に結びついていないことから、引き続き、研究支援体制の整備に取り組まれない。

【参考】

年度評価における「研究」に関する中期計画の進捗状況評価

H25	H26	H27	H28	H29	H30
B	B	B	B	B	B

(進捗状況評価基準)

S：優れて順調、A：順調、B：概ね順調
C：やや遅れている、D：遅れている

指標（数値目標）の進捗状況一覧

中項目	指標	目標値/実績値/達成度[達成率]						
		H25	H26	H27	H28	H29	H30	
(No.5) 研究水準及び成果等	No.6 著書件数	目標値	18件	18件	19件	19件	20件	20件
		実績値	13件	5件	7件	13件	7件	7件
		達成度	△ [72.2%]	▲ [27.7%]	▲ [36.8%]	△ [68.4%]	▲ [35.0%]	▲ [35.0%]
	No.7 論文件数	目標値	60件	62件	64件	66件	68件	70件
		実績値	49件	61件	67件	70件	82件	54件
		達成度	○ [81.6%]	○ [98.3%]	◎ [104.7%]	◎ [106.1%]	◎ [120.6%]	△ [77.1%]
	No.7 論文（査読付き）件数	目標値	55件	57件	59件	61件	63件	65件
		実績値	30件	48件	51件	57件	69件	49件
		達成度	▲ [54.5%]	○ [84.2%]	○ [86.4%]	○ [93.4%]	◎ [109.5%]	△ [75.4%]
	No.8 学会報告件数	目標値	95件	98件	101件	104件	107件	110件
		実績値	116件	101件	102件	111件	130件	138件
		達成度	◎ [122.1%]	◎ [103.0%]	◎ [101.0%]	◎ [106.7%]	◎ [121.5%]	◎ [125.5%]
	No.9 論文の被引用件数等	目標値	16件	32件	48件	65件	82件	100件
		実績値	24件	28件	61件	114件	148件	209件
		達成度	◎ [150.0%]	○ [87.5%]	◎ [127.1%]	◎ [175.4%]	◎ [180.5%]	◎ [209.0%]
参考 大学における研究発表会の開催件数	目標値	3件						
	実績値	3件	2件	3件	2件	3件	4件	
	達成度	◎ [100%]	△ [66.6%]	◎ [100%]	△ [66.7%]	◎ [100%]	◎ [133.3%]	
(No.6) 研究実施体制の整備等	No.10 外部研究資金獲得件数	目標値	18件	18件	19件	19件	20件	20件
		実績値	18件	19件	19件	17件	17件	21件
		達成度	◎ [100%]	◎ [105.5%]	◎ [100%]	○ [89.5%]	○ [85.0%]	◎ [105.0%]

* 指標の達成度 = ◎達成（100%以上） ○概ね達成（80%以上～100%未満） △やや遅れている（60%以上～80%未満） ▲遅れている（60%未満）

大項目3 地域貢献・国際交流に関する目標

評価結果

A：中期目標の達成状況は『良好』である

ア 評価理由

看護研究交流センターにおいて、地域のニーズに合わせて各種公開講座を実施し、公開講座の開催件数、聴講者数及び満足度が、期間を通して常に目標値を上回ってきたことは、地域に開かれた大学として評価できる。潜在看護師をはじめとしたリカレント教育希望者に対して、インターネットによる公開講座や専門公開講座を開催し、登録会員数は目標値を上回った。各種公開講座や研究成果の積極的な Web 配信等、インターネット環境を利用した社会還元 of 取組の拡充に期待する。

地域社会との連携については、教員の行政・医療機関等への派遣を積極的に行い、「研究指導等講師派遣数」及び「審議会等委員委嘱数」は、期間を通じて常に目標値を上回った。県上越地域振興局等との共催による上越地域看護研究発表会や、近隣3市（上越市、妙高市、糸魚川市）との地域連携協定に基づいた妙高市のメディカルグリーンツアー協力など、地域の関係機関と連携した取組を進めてきたことは評価される。

国際交流については、海外2大学と包括交流協定を締結し、現地で看護実習、看護英語を学び、看護学部生との交流を進めている。

これらの実績を評価し、地域貢献・国際交流に関する目標の達成状況は、「良好」とであると判断した。

イ 中項目別評価結果

(No.7) 地域社会ニーズへの対応【a：中期計画の達成状況は良好である】

看護研究交流センターにおいて、地域の医療者・大学と地域住民が気軽に交流する「いきいきサロン」や、医療分野の先駆的取組を紹介する「市民公開講座」など、地域のニーズに合わせて各種公開講座を実施している。公開講座の開催件数、聴講者数及び満足度が、期間を通して常に目標値を上回ってきたことは、地域に開かれた大学として評価できる。

潜在看護師をはじめとしてリカレント教育を希望する会員を広く募集し、インターネットによる公開講座「バーチャルカレッジ」や専門公開講座「どこでもカレッジ」を開催し、平成30年度の登録会員数は目標値（200人）を上回る241人となった。リカレント教育を受けた潜在看護師の復職状況等について把握・検証の上、引続き取組を進められたい。

各種公開講座や研究成果の積極的な Web 配信等、インターネット環境を利用した社会還元 of 取組の拡充に期待する。

(No.8) 地域社会との連携【s：中期計画の達成状況は優れている】

教員の行政・医療機関等への派遣を積極的に行い、「研究指導等講師派遣数」及び「審議会等委員委嘱数」は、期間を通じて常に目標値を上回ったことや、平成26年度に地元民間等有志による大学振興協力が発足したことは、地域における大学の取組の成果であり、大いに評価される。

県上越地域振興局等との共催による上越地域看護研究発表会や、上越市との共催による医療・健康福祉市民フォーラムの開催、平成25年度に近隣3市（上越市、妙高市、糸魚川市）と締結した地域連携協定に基づいた妙高市におけるメディカルグリーンツアーへの協力、県立中央病院との意見交換など、地域の関係機関と連携した取組を進めてきたことは評価される。

上越地域における取組実績は評価されるものであるが、今後はこの取組が全県的に広がることを期待したい。

(No.9) 国際交流【a：中期計画の達成状況は良好である】

平成 25 年度にベトナムのホーチミン医科薬科大学、平成 28 年度にニュージーランドのクライストチャーチ工科大学と包括交流協定を締結し、海外大学との交流提携校数の目標とした 2 校と協定締結に至った。平成 27 年度にはベトナムの国立クイホア病院と協定を締結し、平成 30 年度には、ベトナムのビンディン医科大学と新たな包括交流協定の締結に向けて協議を行っており、取組に更なる展開もみられている。

包括交流協定に基づき、海外大学等から講師を招き講演会を開催したほか、現地で看護実習、看護英語を学び、現地の看護学部生との交流を図る研修プログラムを実施し、「国際看護演習^{ハルビン}」として単位化するシステムを導入した。

平成 29 年度に中国のハルビン医科大学との交流を始めたが、交流窓口となっていたハルビン医科大学の教授が定年退職したため、1 年で交流が中断したことは残念であり、海外大学との交流は組織的な体制のもとで推進されることを望む。

また、海外交流には旅費等の資金が必要となることから、地域社会へ向けた資金調達のアプローチを行うなどの取組を期待する。

【参考】

年度評価における「地域貢献・国際交流」に関する中期計画の進捗状況評価

H25	H26	H27	H28	H29	H30
A	A	S	S	S	A

(進捗状況評価基準)

S：優れて順調、A：順調、B：概ね順調
C：やや遅れている、D：遅れている

指標（数値目標）の進捗状況一覧

中項目	指 標	目標値/実績値/達成度[達成率]						
		H25	H26	H27	H28	H29	H30	
(No.7) 地域社会 ニーズへの 対応	No.11 公開講座（開催件数）	目標値	18回					▶
		実績値	27回	26回	25回	24回	21回	21回
		達成度	◎ [150.0%]	◎ [144.4%]	◎ [138.9%]	◎ [133.3%]	◎ [116.7%]	◎ [116.7%]
	No.11 公開講座（聴講者数）	目標値	1,300人					▶
		実績値	1,386人	1,798人	1,873人	1,858人	1,683人	1,528人
		達成度	◎ [106.6%]	◎ [138.3%]	◎ [144.1%]	◎ [142.9%]	◎ [129.5%]	◎ [117.5%]
	No.11 公開講座（満足度） （5段階評価の上位2位の割合）	目標値	86%					▶
		実績値	87.0%	91.5%	89.2%	89.8%	86.7%	86.5%
	No.15 マスメディアに取り上げられた件数（新聞掲載数）	目標値	173件	173件	176件	179件	182件	185件
		実績値	191件	224件	228件	221件	185件	155件
No.12 看護職リカレント教育登録者数	目標値	138人	150人	162人	176人	188人	200人	
	実績値	146人	158人	171人	194人	209人	241人	
(No.8) 地域社会 との連携	No.13 研究指導等講師派遣数	目標値	60人					▶
		実績値	82人	71人	71人	74人	71人	102人
		達成度	◎ [136.6%]	◎ [118.3%]	◎ [118.3%]	◎ [123.3%]	◎ [118.3%]	◎ [170.0%]
	No.14 審議会等委員委嘱数	目標値	25人					▶
		実績値	28人	38人	58人	47人	42人	62人
	No.16 臨床現場・行政機関と人事 交流を行う人数（2年以上の者）	目標値	1人	1人	2人	2人	3人	4人
実績値		1人	1人	2人	2人	2人	2人	
(No.9) 国際交流	No.17 海外大学との交流提携校数	目標値	調査検討	調査検討	調査検討	調査検討	1校	2校
		実績値	1校	1校	1校	2校	2校	2校
		達成度	◎ [-]	◎ [-]	◎ [-]	◎ [100%]	◎ [200%]	◎ [100%]

* 指標の達成度 = ◎達成（100%以上） ○概ね達成（80%以上～100%未満） △やや遅れている（60%以上～80%未満） ▲遅れている（60%未満）

大項目4 業務運営の改善及び効率化に関する目標

評価結果

A：中期目標の達成状況は『良好』である

ア 評価理由

優秀な人材の育成と輩出を戦略的に推進するため、平成30年度に大学院博士後期課程を開設したことは、高く評価される。

学外有識者の意見を積極的に取り入れ、大学運営に反映している。また、理事・監事・経営審議会委員等に学外有識者を登用し効果的な法人運営を行っていることは評価したい。

事務局職員については、プロパー職員を計画的に採用するとともに、資質向上に向けて外部研修に積極的に参加させてきた結果、事務局の学生対応に関する学生満足度は、年々上昇し、平成30年度には目標値を大幅に上回った。また、業務の改善や事務処理の効率化を進めて、時間外勤務時間の縮減や年休を取得できる環境づくりにつなげている。

これらの実績を評価し、業務運営の改善及び効率化に関する目標の達成状況は、「良好」と判断した。

イ 中項目別評価結果

(No.10) 運営体制の改善【a：中期計画の達成状況は良好である】

優秀な人材の育成と輩出を戦略的に推進するため、平成30年度に大学院博士後期課程を開設したことは、高く評価される。

学外有識者の意見を積極的に取り入れ、平成28年度には、計画を2年前倒しして教員評価システムを構築するなど、大学運営に反映している。また、平成30年度には、新潟県看護協会会長を経営審議会の外部委員に招くなど、理事・監事・経営審議会委員等に学外有識者を登用し効果的な法人運営を行っていることは評価したい。

平成29年度の包括外部監査の結果を踏まえ、経営審議会の開催数増加や情報セキュリティポリシーの策定、施設整備計画の策定など、対応可能なものから速やかに対応し運営体制の改善に取り組んでいる。

(No.11) 人事の適正化【a：中期計画の達成状況は良好である】

年間を通じた公募により、毎年度、全ての科目群に教員の適正配置が行われており、教員人材確保への努力と成果は評価できる。また、教員のネットワーク（人脈）も活用し、広範囲に質の高い人材を確保できるよう取り組み、任期制・年俸制教員の割合は目標を上回った。

平成28年度に導入した教員評価システムにより、業績評価及び業績による研究費の追加配分を行うことで処遇に反映させていることは評価できる。今後も教員評価システムの適切な活用により、大学組織活性に資する運用を期待する。

事務局職員については、プロパー職員を計画的に採用するとともに、資質向上に向けて外部研修に積極的に参加させてきた結果、事務局の学生対応に関する学生満足度は、平成25年度の45.0%から年々上昇し、平成30年度には94.6%に達し目標値の75%を大幅に上回った。

(No.12) 事務の効率化・合理化【b：中期計画の達成状況は概ね良好である】

業務の改善や事務処理の効率化に着実に取り組んできたものと認められる。ノ一残業デーの設定や業務の平準化などの取組を、時間外勤務時間の縮減、年休を取得できる環境づくりにつなげており、引き続き、働き方改革への対応についても組織的な取組を期待する。

また、情報量が増加し、価値観も多様化する中で、効率的に正確な情報を収集できる体制を整備してもらいたい。

【参考】

年度評価における「業務運営の改善及び効率化」に関する中期計画の進捗状況評価

H25	H26	H27	H28	H29	H30
B	B	A	A	A	A

(進捗状況評価基準)

S：優れて順調、A：順調、B：概ね順調
C：やや遅れている、D：遅れている

指標（数値目標）の進捗状況一覧

中項目	指標		目標値/実績値/達成度[達成率]					
			H25	H26	H27	H28	H29	H30
(No.10) 運営体制の改善	No.23 業務改善率（監査指導等）	目標値	100%					▶
		実績値	指摘なし	100%	指摘なし	100%	指摘なし	85.2%
		達成度	—	◎ [100%]	—	◎ [100%]	—	○ [85.2%]
(No.11) 人事の適正化	No.18 教員が適正に配置されている科目群の割合	目標値	100%					▶
		実績値	100%	100%	100%	100%	100%	100%
		達成度	◎ [100%]	◎ [100%]	◎ [100%]	◎ [100%]	◎ [100%]	◎ [100%]
	No.19 客員・特任教員の人数	目標値	6人	6人	6人	7人	8人	10人
		実績値	6人	6人	6人	7人	9人	9人
		達成度	◎ [100%]	◎ [100%]	◎ [100%]	◎ [100%]	◎ [112.5%]	○ [90.0%]
	No.20 任期制・年俸制を適用している教員の割合	目標値	5%	5%	5%	6%	8%	10%
		実績値	2.0%	9.4%	15.1%	17.0%	25.5%	26.8%
		達成度	▲ [40.0%]	◎ [188.6%]	◎ [302.0%]	◎ [283.3%]	◎ [318.8%]	◎ [268.8%]
	No.21 教員評価制度の導入（導入の有無）	目標値	調査	調査	調査	素案検討	素案検討	有
		実績値	調査	指針案策定	評価試行	有	有	有
		達成度	○ [—]	◎ [—]	◎ [—]	◎ [100%]	◎ [100%]	◎ [100%]
No.22 事務局の対応学生満足度（5段階評価の上位2位の割合）	目標値	75%					▶	
	実績値	45.0%	67.8%	69.4%	85.7%	90.7%	94.6%	
	達成度	△ [60.0%]	○ [90.3%]	○ [92.5%]	◎ [114.3%]	◎ [120.9%]	◎ [126.1%]	

* 指標の達成度 = ◎達成（100%以上） ○概ね達成（80%以上～100%未満） △やや遅れている（60%以上～80%未満） ▲遅れている（60%未満）

大項目5 財務内容の改善に関する目標

評価結果

B：中期目標の達成状況は『概ね良好』である

ア 評価理由

外部研究資金獲得のための研修会や学内説明会の開催など、組織的・継続的な取組が、平成30年度の外部研究資金の獲得件数の増加に反映されてきたものと評価される。研究助成金の申請件数・採択率向上に向けた新たな取組も始めているので、大学としての支援の仕組みが定着し成果に結びつくことを期待する。

公開講座の有料化や大学施設の有償貸付などを行ってきたが、外部資金調達のための取組を充実・強化し、自己収入の増加に努められたい。

経費節減に向けて着実に取り組まれ、適切な資産の運用管理にも努めているところであり、今後とも、施設や設備の整備には計画性をもって対応されたい。

これらの状況を総合的に評価し、財務内容の改善に関する目標の達成状況は、「概ね良好」とであると判断した。

イ 中項目別評価結果

(No.13) 自己収入の増加【b：中期計画の達成状況は概ね良好である】

外部研究資金獲得のための研修会や学内説明会の開催など、組織的・継続的な取組が、平成30年度の外部研究資金の獲得件数の増加に反映されてきたものと評価される。平成30年度には、科学研究費の獲得実績の多い教員をコンサルテーターとして選任し、支援を要望する教員を対象に研究計画の立案、修正に関する相談を受け助言するコンサルテーションシステム（R.P.C：Research Proposal Consultation）を構築するなど、研究助成金の申請件数・採択率向上に向けた新たな取組も始めているので、大学としての支援の仕組みが定着し成果に結びつくことを期待する。

公開講座の有料化や大学施設の有償貸付などを行うほか、地元民間等有志による大学振興協力会からの助成を受けているが、更なる協力会の周知や寄附金の使途の継続的な公開により協力会員の増加を図るなど、外部資金調達のための取組を充実・強化し、自己収入の増加に努められたい。

(No.14) 経費節減【b：中期計画の達成状況は概ね良好である】

一般競争入札を実施し調達価格の低減を図ったほか、夏季閉校日の導入や照明のLED化、教職員に対するコスト意識の徹底等により光熱水費を削減するなど、経費節減に向けて着実に取り組まれているものと認められる。

(No.15) 資産の運用管理の改善【b：中期計画の達成状況は概ね良好である】

大学の施設や設備について定期的に巡回点検し、更新時期の検討や必要な更新を行うなど、適切な資産の運用管理に努めているところである。平成30年3月にグラウンドで漏水が発生するという事態も認められたことから、水道使用量の定期的な点検など適切な管理体制を検討されたい。

平成30年度には専門的な知見を基に、より精度の高い新たな施設整備計画を策定したが、予算を伴うことから、着実に計画性をもって対応されたい。

【参考】

年度評価における「財務内容の改善」に関する中期計画の進捗状況評価

H25	H26	H27	H28	H29	H30
B	B	B	B	B	B

(進捗状況評価基準)

S：優れて順調、A：順調、B：概ね順調
C：やや遅れている、D：遅れている

指標（数値目標）の進捗状況一覧

中項目	指 標	目 標 値 / 実 績 値 / 達 成 度 [達 成 率]						
		H25	H26	H27	H28	H29	H30	
(No.13) 自己収入の増加	No.24 自己収入比率 (自己収入/経常収益)	目標値	32.5%	32.6%	32.7%	32.8%	32.9%	33.0%
		実績値	34.8%	34.5%	33.3%	33.0%	34.0%	30.0%
	達成度	◎ [107.0%]	◎ [105.7%]	◎ [101.8%]	◎ [100.6%]	◎ [103.3%]	○ [90.9%]	
	No.25 外部研究資金比率 (外部研究資金/経常収益)	目標値	2.03%	2.08%	2.13%	2.18%	2.24%	2.30%
実績値		2.30%	1.80%	2.00%	1.50%	2.16%	2.44%	
	達成度	◎ [113.3%]	○ [85.5%]	○ [93.9%]	△ [68.8%]	○ [96.4%]	◎ [106.1%]	

* 指標の達成度 = ◎達成 (100%以上) ○概ね達成 (80%以上~100%未満) △やや遅れている (60%以上~80%未満) ▲遅れている (60%未満)

大項目6 自己点検・評価及び情報公開の推進に関する目標

評価結果

B：中期目標の達成状況は『概ね良好』である

ア 評価理由

包括外部監査や認証評価の受審結果を踏まえ、対応可能なものから速やかに改善に取り組んでいる。

ホームページの全面リニューアルや年度ごとの内容の見直しにより、利用者が理解しやすい構成や利用者視点からの情報掲載に努めているところであるが、今後も継続的なリニューアルに取り組むとともに、SNSの活用など情報発信の強化を検討されたい。

これらの状況を総合的に判断した結果、自己点検・評価及び情報公開の推進に関する目標については、「概ね良好」と判断した。

イ 中項目別評価結果

(No.16) 自己点検・評価の実施【b：中期計画の達成状況は概ね良好である】

平成28年度に導入した教員評価システムにより、評価を実施し、業績による研究費の追加配分を行うことで処遇に反映させている。

平成29年度の包括外部監査の結果を踏まえ、経営審議会の開催数増加や情報セキュリティポリシーの策定、施設整備計画の策定など、対応可能なものから速やかに実施し、業務運営の改善に取り組んでいる。

また、大学基準協会の平成29年度の認証評価の受審結果に対応し、シラバスの記載内容の改善や法人に関する評価を担当する「法人評価調整会議」の新たな設置など、必要な改善を進めた。

(No.17) 情報公開の推進【b：中期計画の達成状況は概ね良好である】

平成25年度にホームページを全面リニューアルするとともにスマートフォン対応とし、その後も年度ごとに内容の見直しを行っており、利用者が理解しやすい構成や利用者視点からの情報掲載に努めている。ホームページは大学の主要な広報媒体であることから、印象に残るトップページデザインを工夫するなど、継続的にリニューアルに取り組むとともに、大学の四季や恵まれた学習環境などをPRするため、SNSを活用するなど情報発信の強化を検討されたい。

【参考】

年度評価における「自己点検・評価及び情報公開の推進」に関する中期計画の進捗状況評価

H25	H26	H27	H28	H29	H30
B	B	B	B	B	B

(進捗状況評価基準)

S：優れて順調、A：順調、B：概ね順調

C：やや遅れている、D：遅れている

指標（数値目標）の進捗状況一覧

中項目	指標		目標値/実績値/達成度[達成率]					
			H25	H26	H27	H28	H29	H30
(No.16) 自己点検・評価の実施	No.26 自己点検・評価に基づく改善率	目標値	100%					
		実績値	指摘なし	指摘なし	指摘なし	指摘なし	指摘なし	指摘なし
		達成度	—	—	—	—	—	—
(No.17) 情報公開の推進	No.27 ホームページのアクセス件数	目標値	840,000件	850,000件	860,000件	870,000件	880,000件	900,000件
		実績値	841,816件	623,933件	856,064件	859,323件	925,521件	1,035,377件
		達成度	◎ [100.2%]	△ [73.4%]	○ [99.5%]	○ [98.8%]	◎ [105.2%]	◎ [115.0%]

* 指標の達成度 = ◎達成（100%以上） ○概ね達成（80%以上～100%未満） △やや遅れている（60%以上～80%未満） ▲遅れている（60%未満）

大項目7 その他業務運営に関する重要目標

評価結果

A：中期目標の達成状況は『良好』である

ア 評価理由

当該大学は上越市の指定緊急避難所に位置づけられており、市や住民との避難所開設訓練、教職員向けの避難所開設マニュアルの作成や訓練、研修会に取り組んできた。平成 29 年の豪雨災害の際には学内に避難所を開設し避難者への支援活動を行うなど、地域の災害対応に貢献していることは評価できる。学内の危機管理体制については、危機管理初動対応マニュアルに基づいた安否報告訓練を実施するほか、平成 30 年度に民間の安否情報システム（ANPIC）を導入するなど、速やかに学生の安否確認ができる体制を整えた。

ハラスメント対策として、ハラスメント防止や意識啓発のために名刺サイズのカードを作成して学内に設置していることや、上越教育大学の教員をハラスメントに関する学外相談員として委嘱した上で、訪問、電話またはメールで相談できる体制としたことなどが評価される。

これらの実績を評価し、業務運営に関する目標については、「良好」とであると判断した。

イ 中項目別評価結果

(No.18) 法令遵守の推進【b：中期計画の達成状況は概ね良好である】

薬物乱用の防止や未成年者の飲酒防止、禁煙教育、ゴミの出し方などについて、関係機関から講師を招いたガイダンスを行うなど、学生や教職員が遵守すべき事柄について注意喚起を行ってきた結果、期間を通して就業規則及び学則に規定されている懲戒又は訓告等の処分の対象となる法令順守違反は発生していない。

(No.19) 施設の効率的整備【b：中期計画の達成状況は概ね良好である】

施設・設備の状況を適宜確認し、施設整備を行っている。トイレの洋式化についても順次進めており、61.8%が洋式となっているが、今後も引き続き整備を進められたい。

平成 30 年度に、専門的な知見を基に、より精度の高い新たな施設整備計画を策定した。予算を伴うことから、着実に計画性をもって対応されたい。

(No.20) 危機管理【s：中期計画の達成状況は優れている】

当該大学は上越市の指定緊急避難所に位置づけられており、市や住民との避難所開設訓練、教職員向けの避難所開設マニュアルの作成や訓練、研修会に取り組んできた。平成 29 年の豪雨災害の際には学内に避難所を開設し避難者への支援活動を行うなど、地域の災害対応に貢献していることは評価できる。

学内の危機管理体制については、危機管理初動対応マニュアルに基づいた安否報告訓練を実施するほか、平成 30 年度に民間の安否情報システム（ANPIC）を導入するなど、速やかに学生の安否確認ができる体制を整えた。

(No.21) 人権の保護【a：中期計画の達成状況は良好である】

各種ハラスメントなどの人権侵害を防止するため、新入生に対してハラスメント防止に関する大学の取組について説明するとともに、新入教職員に対してガイダンスを実施した。

ハラスメント防止や意識啓発のために名刺サイズのカードを作成して学内に設置していることや、平成 30 年度には、上越教育大学の教員をハラスメントに関する学外相談員として委嘱した上で、訪問、電話またはメールで相談できる体制としたことなどが評価される。

ハラスメントに対する意識の高まりに伴い、ハラスメントの相談内容も広く多様化してくることが予想されることから、引き続き対応体制の整備を進めることを期待したい。

【参考】

年度評価における「その他業務運営」に関する中期計画の進捗状況評価

H25	H26	H27	H28	H29	H30
B	B	B	A	A	A

(進捗状況評価基準)

S：優れて順調、A：順調、B：概ね順調

C：やや遅れている、D：遅れている

4 参考

公立大学法人新潟県立看護大学 中期計画(H25～H30)における指標(数値目標)の達成度一覧

大項目	中項目	指標	目標値/実績値/達成度[達成率]								
			H25	H26	H27	H28	H29	H30			
1 教育	(No.1) 学生の確保	No.2 志願倍率	目標値	4倍							
			実績値	2.8倍	5.9倍	4.9倍	5.1倍	3.3倍	4.1倍		
			達成度	△ [70.0%]	◎ [148.2%]	◎ [122.5%]	◎ [127.5%]	○ [82.5%]	◎ [100.0%]		
	(No.3) 教育の実施体制	No.3 学生の授業内容満足度(5段階評価の平均)	目標値	4.2点							
			実績値	4.2点	4.3点	4.4点	4.4点	4.6点	4.6点		
			達成度	◎ [100%]	◎ [101.9%]	◎ [104.8%]	◎ [104.8%]	◎ [109.5%]	◎ [109.5%]		
	(No.4) 学生への支援	No.1 国家試験合格率 ※○概ね達成(全国平均値以上～100%未満)	看護師	目標値	100%						
				実績値	97.7%	100%	100%	96.7%	98.9%	98.9%	
				達成度	○ [97.7%]	◎ [100%]	◎ [100%]	○ [96.7%]	○ [98.9%]	○ [98.9%]	
			保健師	目標値	100%						
				実績値	98.9%	100%	97.8%	96.8%	91.7%	87.8%	
				達成度	○ [98.9%]	◎ [100%]	○ [97.8%]	○ [96.8%]	○ [91.7%]	△ [87.8%]	
			助産師	目標値	100%						
				実績値	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
				達成度	◎ [100%]	◎ [100%]	◎ [100%]	◎ [100%]	◎ [100%]	◎ [100%]	
No.4 就職希望者の就職率		目標値	100%								
		実績値	100%	98.9%	100%	98.9%	100%	98.8%			
		達成度	◎ [100%]	○ [98.9%]	◎ [100%]	○ [98.9%]	◎ [100%]	△ [98.8%]			
No.5 新卒者(全学)の県内就職率	目標値	62%									
	実績値	53.3%	69.8%	68.1%	53.8%	71.7%	52.4%				
	達成度	○ [85.9%]	◎ [112.5%]	◎ [109.8%]	○ [86.8%]	◎ [115.6%]	○ [84.5%]				
No.5 新卒者(県内出身)の県内就職率	目標値	80%									
	実績値	68.8%	80.9%	83.8%	71.6%	84.4%	68.3%				
	達成度	○ [86.0%]	◎ [101.1%]	◎ [104.8%]	○ [89.5%]	◎ [105.5%]	○ [85.4%]				
2 研究	(No.5) 研究水準及び成果等	No.6 著書件数	目標値	18件	18件	19件	19件	20件	20件		
			実績値	13件	5件	7件	13件	7件	7件		
			達成度	△ [72.2%]	▲ [27.7%]	▲ [36.8%]	△ [68.4%]	▲ [35.0%]	▲ [35.0%]		
		No.7 論文件数	目標値	60件	64件	66件	68件	70件	70件		
			実績値	49件	61件	67件	70件	82件	54件		
			達成度	○ [81.6%]	○ [98.3%]	◎ [104.7%]	◎ [106.1%]	◎ [120.6%]	△ [77.1%]		
		No.7 論文(査読付き)件数	目標値	55件	57件	59件	61件	63件	65件		
			実績値	30件	48件	51件	57件	69件	49件		
			達成度	▲ [54.5%]	○ [84.2%]	○ [86.4%]	○ [93.4%]	◎ [109.5%]	△ [75.4%]		
		No.8 学会報告件数	目標値	95件	98件	101件	104件	107件	110件		
			実績値	116件	101件	102件	111件	130件	138件		
			達成度	◎ [122.1%]	◎ [103.0%]	◎ [101.0%]	◎ [106.7%]	◎ [121.5%]	◎ [125.5%]		
	No.9 論文の被引用件数等	目標値	16件	32件	48件	65件	82件	100件			
		実績値	24件	28件	61件	114件	148件	209件			
		達成度	◎ [150.0%]	○ [87.5%]	◎ [127.1%]	◎ [175.4%]	◎ [180.5%]	◎ [209.0%]			
参考 大学における研究発表会の開催件数	目標値	3件									
	実績値	3件	2件	3件	2件	3件	4件				
	達成度	◎ [100%]	△ [66.6%]	◎ [100%]	△ [66.7%]	◎ [100%]	◎ [133.3%]				
(No.6) 研究実施体制の整備等	No.10 外部研究資金獲得件数	目標値	18件	18件	19件	19件	20件	20件			
実績値		18件	19件	19件	17件	17件	21件				
達成度		◎ [100%]	◎ [105.5%]	◎ [100%]	○ [89.5%]	○ [85.0%]	◎ [105.0%]				
3 地域貢献・国際交流	(No.7) 地域社会ニーズへの対応	No.11 公開講座(開催件数)	目標値	18回							
			実績値	27回	26回	25回	24回	21回	21回		
			達成度	◎ [150.0%]	◎ [144.4%]	◎ [138.9%]	◎ [133.3%]	◎ [116.7%]	◎ [116.7%]		
		No.11 公開講座(聴講者数)	目標値	1,300人							
			実績値	1,386人	1,798人	1,873人	1,858人	1,683人	1,528人		
			達成度	◎ [106.6%]	◎ [138.3%]	◎ [144.1%]	◎ [142.9%]	◎ [129.5%]	◎ [117.5%]		
	No.11 公開講座(満足度)(5段階評価の上位2位の割合)	目標値	86%								
		実績値	87.0%	91.5%	89.2%	89.8%	86.7%	86.5%			
		達成度	◎ [101.1%]	◎ [106.4%]	◎ [103.7%]	◎ [104.4%]	◎ [100.8%]	◎ [100.6%]			
	No.15 マスメディアに取り上げられた件数(新聞掲載数)	目標値	173件	173件	176件	179件	182件	185件			
		実績値	191件	224件	228件	221件	185件	155件			
		達成度	◎ [110.4%]	◎ [129.4%]	◎ [129.5%]	◎ [123.5%]	◎ [101.6%]	○ [83.8%]			
No.12 看護職リカレント教育登録者数	目標値	138人	150人	162人	176人	188人	200人				
	実績値	146人	158人	171人	194人	209人	241人				
	達成度	◎ [105.7%]	◎ [105.3%]	◎ [105.6%]	◎ [110.2%]	◎ [111.2%]	◎ [120.5%]				
(No.8) 地域社会との連携	No.13 研究指導等講師派遣数	目標値	60人								
		実績値	82人	71人	71人	74人	71人	102人			
		達成度	◎ [136.6%]	◎ [118.3%]	◎ [118.3%]	◎ [123.3%]	◎ [118.3%]	◎ [170.0%]			
	No.14 審議会等委員委嘱数	目標値	25人								
		実績値	28人	38人	58人	47人	42人	62人			
達成度	◎ [112.0%]	◎ [152.0%]	◎ [232.0%]	◎ [188.0%]	◎ [168.0%]	◎ [248.0%]					
No.16 臨床現場・行政機関と人事交流を行う人数(2年以上の者)	目標値	1人	1人	2人	2人	3人	4人				
	実績値	1人	1人	2人	2人	2人	2人				
達成度	◎ [100%]	◎ [100%]	◎ [100%]	◎ [100%]	△ [66.7%]	▲ [50.0%]					
(No.9) 国際交流	No.17 海外大学との交流提携校数	目標値	調査検討	調査検討	調査検討	調査検討	1校	2校			
		実績値	1校	1校	1校	2校	2校	2校			
		達成度	◎ [—]	◎ [—]	◎ [—]	◎ [100%]	◎ [200%]	◎ [100%]			

公立大学法人新潟県立看護大学 中期計画(H25～H30)における指標(数値目標)の達成度一覧

大項目	中項目	指標	目標値/実績値/達成度[達成率]									
			H25	H26	H27	H28	H29	H30				
4 業務運営	(No.10) 運営体制の改善	No.23 業務改善率(監査指導等)	目標値	100%							→	
			実績値	指摘なし	100%	指摘なし	100%	指摘なし	85.2%			
			達成度	—	◎ [100%]	—	◎ [100%]	—	○ [85.2%]			
	(No.11) 人事の適正化	No.18 教員が適正に配置されている科目群の割合	目標値	100%								→
			実績値	100%	100%	100%	100%	100%	100%			
			達成度	◎ [100%]	◎ [100%]	◎ [100%]	◎ [100%]	◎ [100%]	◎ [100%]			
		No.19 客員・特任教員の人数	目標値	6人	6人	6人	7人	8人	10人			
			実績値	6人	6人	6人	7人	9人	9人			
			達成度	◎ [100%]	◎ [100%]	◎ [100%]	◎ [100%]	◎ [112.5%]	○ [90.0%]			
		No.20 任期制・年俸制を適用している教員の割合	目標値	5%	5%	5%	6%	8%	10%			
			実績値	2.0%	9.4%	15.1%	17.0%	25.5%	26.8%			
			達成度	▲ [40.0%]	◎ [188.6%]	◎ [302.0%]	◎ [283.3%]	◎ [318.8%]	◎ [268.8%]			
No.21 教員評価制度の導入(導入の有無)	目標値	調査	調査	調査	素案検討	素案検討	有					
	実績値	調査	指針案策定	評価試行	有	有	有					
	達成度	○ [—]	◎ [—]	◎ [—]	◎ [100%]	◎ [100%]	◎ [100%]					
No.22 事務局の対応学生満足度(5段階評価の上位2位の割合)	目標値	75%								→		
	実績値	45.0%	67.8%	69.4%	85.7%	90.7%	94.6%					
	達成度	△ [60.0%]	○ [90.3%]	○ [92.5%]	◎ [114.3%]	◎ [120.9%]	◎ [126.1%]					
5 財務	(No.13) 自己収入の増加	No.24 自己収入比率(自己収入/経常収益)	目標値	32.5%	32.6%	32.7%	32.8%	32.9%	33.0%			
			実績値	34.8%	34.5%	33.3%	33.0%	34.0%	30.0%			
			達成度	◎ [107.0%]	◎ [105.7%]	◎ [101.8%]	◎ [100.6%]	◎ [103.3%]	○ [90.9%]			
	No.25 外部研究資金比率(外部研究資金/経常収益)	目標値	2.03%	2.08%	2.13%	2.18%	2.24%	2.30%				
		実績値	2.30%	1.80%	2.00%	1.50%	2.16%	2.44%				
		達成度	◎ [113.3%]	○ [85.5%]	○ [93.9%]	△ [68.8%]	○ [96.4%]	◎ [106.1%]				
6 自己点検	(No.16) 自己点検・評価の実施	No.26 自己点検・評価に基づく改善率	目標値	100%							→	
			実績値	指摘なし	指摘なし	指摘なし	指摘なし	指摘なし	指摘なし			
			達成度	—	—	—	—	—	—			
	(No.17) 情報公開の推進	No.27 ホームページのアクセス件数	目標値	840,000件	850,000件	860,000件	870,000件	880,000件	900,000件			
			実績値	841,816件	623,933件	856,064件	859,323件	925,521件	1,035,377件			
			達成度	◎ [100.2%]	△ [73.4%]	○ [99.5%]	○ [98.8%]	◎ [105.2%]	◎ [115.0%]			

* 指標の達成度 = ◎達成 (100%以上) ○概ね達成 (80%以上~100%未満) △やや遅れている (60%以上~80%未満) ▲遅れている (60%未満)

公立大学法人新潟県立看護大学の中期目標期間の業務実績評価(期間評価)実施要領

平成31年2月1日
新潟県公立大学法人評価委員会

第1 趣旨

この要領は、地方独立行政法人法（以下「法」という。）第78条の2の規定及び当該規定に基づき定められた県規則（新潟県公立大学法人の業務運営並びに財務及び会計に関する規則）に基づき、新潟県公立大学法人評価委員会（以下「評価委員会」という。）が行う公立大学法人新潟県立看護大学（以下「法人」という。）の中期目標期間の業務実績に関する評価（以下「期間評価」という。）を適切に行うため、評価の実施に関し必要な事項を定めるものとする。

第2 評価の目的

評価委員会が行う評価は、法人の業務運営の自主的かつ継続的な見直し・改善を促し、もって、法人の業務の質的向上、業務運営の効率化、透明性の確保に資することを目的として行う。

第3 評価の基本方針

期間評価は、中期目標の達成状況を確認する観点から行い、評価に当たっては、総合的かつ効率的に行うこととする。

なお、評価の際は、大学の教育研究の特性や大学運営の自主性・自律性に配慮するとともに、評価を通じて、法人の中期目標の達成状況を県民に分かりやすく示すよう努めるものとする。

第4 期間評価の実施時期

期間評価は、当該中期目標期間終了後、概ね5月以内に実施するものとする。

第5 期間評価の実施方法

1 評価手法

期間評価は、その目的を効率的かつ効果的に達成するため、業務実績に基づき法人が行う自己評価結果を踏まえ、項目別に評価の上、中期目標の達成状況について総合的な評価（全体評価）を行う。

2 評価項目

評価項目は、表1のとおりとする。

3 評価基準

評価にあたっては、表2の取扱いを基本に、取組状況や目標の難易度、外的要因等、それぞれの状況を総合的に勘案して評価するものとする。

なお、評価にあたっては、法第79条の規定に基づき、学校教育法（昭和22年法律第26号）第109条第2項に規定する認証評価機関の教育及び研究の状況についての評価を踏まえるものとする。

4 評価の手順

(1) 中項目別評価

ア 法人による実績報告

法人は、事業単位及び指標単位の業務実績（中期計画における各事業の実施状況及び事業の成果に関する指標の達成度）をとりまとめ、表1に定める中項目ごとに、3に定める評価基準に沿い自己評価の上、業務実績報告書を作成し、中期目標の期間の終了後3月以内に評価委員会に提出する。

なお、指標の達成度の算定基準は、表3のとおりとする。ただし、指標の性質から、表3により達成度

を算定しがたい指標については、表3-2によるものとする。

イ 評価委員会による検証・評価

評価委員会は、法人から提出された業務実績報告書について、法人関係者からのヒアリング等により検証の上、表1で定める中項目ごとに、3に定める評価基準により、評価する。

なお、評価委員会は、検証、評価を行う上で必要がある場合、法人に対して資料の追加提出を求めることができるものとする。

ウ 法人意見の聴取、申立て機会の付与

評価の透明性、正確性を確保するため、評価委員会は、法人の実績報告・自己評価に基づき実施した中項目評価について、評価結果の決定に先立ち、法人に評価結果案を提示し、意見申立ての機会を付与する。

なお、法人は、当該案に対する意見を、書面により評価委員会に申し出るものとする。

エ 評価の確定

評価委員会は、中項目別評価案に対する法人意見を踏まえ、必要に応じて法人関係者の説明を受けて当該意見の適否を審議し、当該案に修正を加える等により中項目別評価を確定する。

(2) 大項目別評価

評価委員会は、(1)における中項目別評価結果を踏まえ、表1に定める大項目ごとに、3に定める評価基準により、中期目標の達成状況を総合的に勘案して評価する。

(3) 全体評価

評価委員会は、項目別評価の結果を踏まえ、3に定める評価基準により、中期目標の全体的な達成状況を総合的に勘案して評価する。

第6 評価結果の取扱い等

1 評価結果の通知及び公表等

評価委員会は、評価結果を確定したときは、評価書としてとりまとめ、遅滞なく当該評価書を法人及び知事に送付するとともに新潟県ホームページ等で公表する。

2 評価結果の活用

法人は、評価結果を自らの業務運営等の見直し又は改善に活用・反映させていくものとする。

なお、評価委員会は、評価に際し、従前の評価結果等に対する法人の業務運営への活用・反映状況等を確認するものとする。

第7 評価方法の継続的な見直し

この要領については、期間評価の実施状況等を踏まえ、必要に応じて見直すものとする。

第8 その他

この要領に定めるもののほか、評価の実施に際して必要な事項は、評価委員会が別に定める。

附 則

この要領は、平成31年4月1日から施行する。

(表 1 : 期間評価における評価項目)

評価区分	全体評価	項目別評価		
		大項目別評価	中項目別評価	
評価対象	項目別評価を踏まえた、中期目標全体の進捗状況	中項目別評価を踏まえた、中期目標における次の7区分ごとの進捗状況	事業単位及び指標単位(小項目別)の業務実績を基に、法人が行う自己評価を踏まえた、中期計画における次の区分ごとの進捗状況	(中期計画)
評価項目	中期目標全体	1 教育に関する目標 (中期目標 第2の1)	(1) 学生の確保	第1の1 (1)
			(2) 教育の内容	第1の1 (2)
			(3) 教育の実施体制	第1の1 (3)
			(4) 学生への支援	第1の1 (4)
		2 研究に関する目標 (中期目標 第2の2)	(1) 研究水準及び成果等	第1の2 (1)
			(2) 研究実施体制の整備等	第1の2 (2)
		3 地域貢献・国際交流に関する目標 (中期目標 第2の3)	(1) 地域社会ニーズへの対応	第1の3 (1)
			(2) 地域社会との連携	第1の3 (2)
			(3) 国際交流	第1の3 (3)
		4 業務運営の改善及び効率化に関する目標 (中期目標 第3)	(1) 運営体制の改善	第2の1
			(2) 人事の適正化	第2の2
			(3) 事務の効率化・合理化	第2の3
		5 財務内容の改善に関する目標 (中期目標 第4)	(1) 自己収入の増加	第3の1
			(2) 経費節減	第3の2
			(3) 資産の運用管理の改善	第3の3
		6 自己点検・評価及び情報公開の推進に関する目標 (中期目標 第5)	(1) 自己点検・評価の実施	第4の1
			(2) 情報公開の推進	第4の2
		7 その他業務運営に関する重要目標 (中期目標 第6)	(1) 法令遵守の推進	第5の1
			(2) 施設の効率的整備	第5の2
			(3) 危機管理	第5の3
			(4) 人権の保護	第5の4

※ 中期計画の第6から第10に係る実績については、全体評価の際に参考情報として用いる。

(表2：期間評価における評価基準)

評価区分		評定	標語	評価の目安
項目別評価	中項目別評価	s	中期計画の達成状況は優れている	特に優れる若しくは顕著な成果
		a	中期計画の達成状況は良好である	上回る若しくは十分な実施
		b	中期計画の達成状況は概ね良好である	実施
		c	中期計画の達成状況はやや不十分である	下回る若しくは実施が不十分
		d	中期計画の達成状況は不十分である	特に劣る若しくは実施せず
	大項目別評価	S	中期目標の達成状況は優れている	大項目（7区分）別に、中期目標の達成状況について、中項目別評価から総合的に勘案し、評価
		A	中期目標の達成状況は良好である	
		B	中期目標の達成状況は概ね良好である	
		C	中期目標の達成状況はやや不十分である	
		D	中期目標の達成状況は不十分である	
全体評価		中期目標の達成状況は優れている 中期目標の達成状況は良好である 中期目標の達成状況は概ね良好である 中期目標の達成状況はやや不十分である 中期目標の達成状況は不十分である	中期目標全体の達成状況について、項目別評価から総合的に勘案し、評価	

(表3：指標の達成度の算定基準)

	符号	標語	達成度の算定基準
指標の達成度	◎	達成	達成率 100%若しくは100%以上
	○	概ね達成	達成率 80%以上100%未満
	△	やや遅れている	達成率 60%以上 80%未満
	▲	遅れている	達成率 60%未満

(表3-2：実施要領第5の4(1)ア表3の基準を適用しない指標の達成度の算定基準)

指標	符号	標語	達成度の算定基準
「国家資格の取得率」の達成度 《参考：評価方法》 ・看護師合格率 ・保健師合格率 ・助産師合格率	◎	達成	合格率 100%
	○	概ね達成	合格率「直近の全国合格率平均値」以上100%未満
	△	やや遅れている	合格率 80%以上「直近の全国合格率平均値」未満
	▲	遅れている	合格率 80%未満
「就職希望者の就職率」の達成度	◎	達成	就職率 100%
	○	概ね達成	就職率「直近の公立大学医療福祉系学部における就職希望者の就職率の全国平均値」以上100%未満
	△	やや遅れている	就職率 80%以上「直近の公立大学医療福祉系学部における就職希望者の就職率の全国平均値」未満
	▲	遅れている	就職率 80%未満

新潟県公立大学法人評価委員会 看護大学部会委員

(五十音順・敬称略)

選出分野	氏 名	現 職
会計	かしろ さとこ 神代 聡子	公認会計士・税理士
地域・経営	かつしま あさこ 勝島 朝子	株式会社勝島経営研究所 ビジネスカツシマ代表取締役
教育・研究	かながわ かつこ 金川 克子	石川県立看護大学 名誉教授
教育・研究	【委員長・部会長】 げじょう ふみたけ 下條 文武	新潟大学 名誉教授